



企業の担当者（右）から説明を受ける学生
11日、八戸学院大

県内企業インターン 促進へマッチング会

県、八戸学院大で初めて

青森県が主催する「県内企業夏季インターンシップマッチング会」が10日、八戸学院大で開かれた。インターンの参加促進を目的とした県のイベントは初めて。同大の学生が県内企業の事業や地元で働くメリットについて理解を深めた。人口減少が進む県内では、就職を契機とした学生

の県外流出が課題。県若者定着還流促進課によると、近年は就職活動でインターンの重要性が増しており、県としても県内企業と学生の交流の場を設けて県内就職を後押ししたい考えだ。

同日は、県内に本社や営業所を置く企業15社が参加。学生33人が興味のあるブースに足を運び、業務内容ややりがい、インターンの内容などについて説明を

受けた。

地域共創学部地域共同学科3年の樽井琉仁さん（20）は「これから就職活動をするに当たり、イメージが明確になった。話を聞く前は県外での就職を考えていたが、県内就職も視野に入れてみようと思った」と話した。

イベントは12日に青森中央学院大、16日に弘前大でも開催予定。（向屋敷萌）